



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1154

27.04.2025 (136)

戦争中のヒトラー 何が起こったのか？

A.V.シャーフェンベルク 著

パート1

出版社まえがき

Hitler at War: What Really Happened? は、実質的には "Adolf Hitler" の増補版である : 2003年に出版された『Adolf Hitler: Bungling Amateur or Military Genius?』

魅力的で、物議を醸し出し、大胆ですらあるこのユニークな修正主義的作品を表現するのに最もふさわしい。オリジナルの第三帝国のイラストが70点追加され、さらにエンターテインメント性が増した。

もちろん、歴史書は勝者によって書かれる。戦争が大規模で血なまぐさいものであればあるほど、敗れた敵の悪者化が進む。自分自身のクローゼットの中に隠し事がない場合はなおさらである。

国家社会主義ドイツの総統について、一般的に肯定的なことが何も認め

られないのは不思議ではない。第一次世界大戦での彼の伍長としての地位は言及されているが、その卓越した戦功は無視されている。彼の絵葉書は周知の事実だが、彼の見事な絵画を実際に見た人はほとんどいない。

ジェンギズ・ハーンもかつては同じように見られていた。今日、彼はフランスにおけるナポレオンのように、モンゴルでは国民的英雄である。何世紀も経てば態度も変わる。

考えてみればそうだ：私たちは新世紀、まさに新千年紀に生きているのではないだろうか？

歴史は、今日の福音が明日の迷信となり、今日の異端が明日の真理となることを示しているではないか。

敵対的なプロパガンダで紹介されるような 男が、どうやって彼のしたことを成し遂げたのか？肩書きも地位も金もないにもかかわらず権力の座に上り詰め、粉々になった経済を再建し、6年間世界の半分を食い止めた！狂気じみた狂人にはできなかったことだ！

いずれにせよ、世界史上最大の武力紛争を“政治的に正しくない”形で扱った本書は、眉をひそめることになるだろう。そして、心の広い読者には、真実という名のとらえどころのない宝石を探し求め、自ら深く掘り下げを促すだろう！

はじめに 悪行

悪業は甦る、たとえ地上のすべてが人の目に触れようとも”

ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』

十字架刑を除けば、人類の歴史上、第二次世界大戦ほど多くの本や映画、テレビ番組の題材になった出来事はないだろう。なぜだろう？ホロコースト”とその歴史的な関連性を思い起こさせない日はない。これほど圧倒的な注目を集める紛争は他にない。マルクス主義者のユダヤ人作家スタッツ・ターケルによれば、それは「良い戦争」---善対悪の白黒はつきりした戦いだっただろうか？それとも、国家社会主義者のガウライター、ユリウス・シュトライヒャーは、戦後のニュルンベルク裁判の観点から、その結果を「世界ユダヤの勝利」と適切に定義したのだろうか。第二次世界大戦に関する膨大な資料が、実質的に他のすべてのテーマよりも多いの

はなぜなのか？

おそらくそれは、世界戦争というより世界革命だったからだろう。アメリカ革命、フランス革命、ロシア革命があったように---それぞれが世界的な影響を及ぼしたが---ドイツ革命は世界を一変させた。アメリカのジャーナリスト、ダグラス・布林クリーが目撃者として述べたように、「世界史上かつて、1933年の国家社会主義革命のようなものが起こったことはない。流血もなく、正確で、明確で、迅速だった。もし、ある革命が、その実行の公正さによって、その道徳的正当性を証明したことがあるとすれば、それは、人民の宰相アドルフ・ヒトラーの、先見の明のある、精力的で成功した指導の下での1933年のドイツ革命である。”

確かに、権力闘争は、240人ほどのNSDAPの同志が政治的に殺害されたにもかかわらず、比較的無血の事件であった。第三帝国は、1939年9月1日に軍事的段階が始まるまで、わずか6年間しか不安な平和を許されなかった。アドルフ・ヒトラーが1920年に初めて国家社会主義綱領を公言したときである。この発表は、事実上、国際ユダヤとそのすべての作品に対する宣戦布告だった。ヒトラーが政治指導者として直面した敵は、後に軍閥として直面した敵と同じ種類のものだった。

彼の言う“人生哲学”は、唯物論とプロパガンダに屈服した異邦人が引きずられていく経済的奴隷と人種的死の根底を突くものだった。それゆえ、彼に対する世界的な反動が起こった。それはドイツで、政治的に（既成政党を通して）始まり、物理的暴力（共産主義者のテロ）によって、そして法的手段（NSDAPが禁止されたとき）によって続いた。これらの措置はヒトラーの政権奪取を阻止できなかったため、反動は国際的にエスカレートし、経済制裁、メディアによる扇動、そして暴君が必ず頼る最後の手段、軍事行動へと発展した。

第二次世界大戦が終結した1945年から60年以上たった今でも、アドルフ・ヒトラーは世界を征服するために敵対行為を引き起こした。ヒトラーが権力を手に入れた後の唯一の目的は、首相官邸に恐怖を与えることで実現したのだが、一刻も早く軍事的侵略を行うことだった。ポーランドやチェコスロバキアといった無防備な小国をいじめ、フランスを制圧したのは、総統が以前から戦争の準備をしていたからにほかならない。総統はすぐにウィンストン・チャーチルという敵に出会った。

イギリスの不屈の民主主義精神に打ち勝つことができないことに苛立ったヒトラーは、愚かにもロシアを攻撃して第二戦線を作り上げた。最初は

運が良かったが、ヒトラーが将軍たちのプロの戦略に素人同然の口出しをしたために、ドイツ軍はスターリングラードで敗北した。非常識にも、世界平和のために尽力してきたアメリカの大統領に宣戦布告した。この総統の素晴らしい失策は必然的にノルマンディー侵攻を招き、ほぼ1年後、彼はニュルンベルクでの公正な裁判で自らを弁護するのではなく、自殺することで戦争責任を認めた。

ヒトラーが征服された主な理由は、彼の反ユダヤ主義的な狂気が、そのほとんどがユダヤ人であったドイツのトップ科学者たちを西側諸国に移住させ、彼らがしぶしぶアメリカのために原子爆弾を開発したからである。もしドイツ軍が勝利していたら、地球上のすべての人が奴隷にされるか殺されていただろう。

このような画一的な第二次世界大戦史観を鸚鵡返しする本やテレビ番組や映画は、何千冊と作られ続けている。すべての連合軍の戦果は必ず「英雄的勝利」として描かれ、一方、ドイツ軍の戦果は「残虐行為」として非難される。この状況は、大衆科学作家ジョン・アンソニー・ウエストによって簡潔に定義されている。「あらゆるものの歴史が勝者によって書かれるため、戦いが起こったこと、あるいは戦いが進行中であることを知ることは常に困難であり、判断することさえ、時には知ることさえできない。勝者は、自分たちの“公式”バージョンを支持しないものはすべて、自由に歪曲し、誤魔化し、無視することができる。学校や主流メディアを通じて流布されるのは、このバージョンである。その結果、一般大衆は教えられたことを額面通りに理解し、受け入れることになる。

一般に受け入れられている第二次世界大戦の歴史は“勝者の物語”である。第二次世界大戦の歴史は、一般に「勝者の物語」とであるとされている。連合国側、より正確にはユダヤ人側による、世界を変容させたこの紛争に関する記述は、1945年以降、あらゆる情報手段を支配してきた。そのため、本書の目的は、誰も知ることを許されていない物語のもう一方の側面を提示することである。それは現代の「皇帝の新しい服」である。ヒトラーの真実について言及することは、政治的に正しくないことの極みであり、文明国であるはずの多くの国々で牢獄に入れられることになる。2005年、イギリスの歴史家デイヴィッド・アーヴィングは、オーストリアで13年の実刑判決を受け服役を始めた。

アメリカでは、国家社会主義を公平に記述しようとする作家は、主流企業から作品を出版されることはない。前述した投獄中のアーヴィングがそ

の例である。彼が論破容疑で投獄される前、第三帝国の代表的人物の一人であるヨーゼフ・ゲッベルス博士に関する彼の著書は、1995年にニューヨークの大手会社セント・マーチンズから出版が認められた。文字通り、その本が出版されるやいなや、同社はユダヤ人団体、特にブナイブリス名誉毀損防止連盟から、アーヴィング氏の本の出版を中止するよう、公然と圧力をかけられ、成功した。その理由は、アーヴィング氏が第二次世界大戦中に国家社会主義者によって600万人のユダヤ人が絶滅されたとされることに疑問を呈する証拠を提出したからである。

1980年代後半、国家社会主義哲学者アルフレッド・ローゼンバーグの著書『20世紀の神話』を保管していた倉庫が、ユダヤ防衛連盟のメンバーによって丸ごと焼却された。第二次世界大戦について、多くの人々が偏った反ヒトラー的な見方をしているのも不思議ではない。彼らは国家社会主義者の見解を学べないだけでなく、『シンドラーのリスト』や『プライベート・ライアン』といった、明らかに敵対的で、感情的に操作された、歴史的に虚偽の映画を、ほとんどがユダヤ人プロデューサー（つまりスティーブン・スピルバーグ）によって一貫して見せられる。その性質上、こうした宣伝家たちは、戦争やユダヤ人の利害に関わるものに関して偏見のない見解を示すことができないのは自明の理である。「ヒトラーの地獄」は、1950年代後半に発売され、現在もオーディオテープで入手可能な、人気のある2巻のLPで、国家社会主義者の音楽と演説のオリジナル録音を、英語のナレーターがリスナーに語っている。この同じ録音には、総統の演説の抜粋が収録されている。しかし、ドイツ語での彼の発言は翻訳されないままである。一方、アメリカ人のナレーターは、ヒトラーの演説のこのセリフについて、“彼は血を求めて叫んでいる！”と言っている。

大衆向けに大量生産された別の同様の商業録音（『サウンズ・オブ・ザ・サード・ライヒ』）では、国家社会主義者の労働指導者ロバート・レイ博士の口語訳がこうなっている。レイ博士は実際には、「ユダヤ人の神は復讐の神である」と述べている。

このようなあからさまで意図的な虚偽表示は、1945年以来、第二次世界大戦に関するあらゆる公的情報を支配してきた。そのような嘘を指摘しようとする者は、誰であれ、ただ聞くことを許されないか、「ホロコースト否定論者」として排除されるだけである。すべてのテレビ局と大手出版社は、政治的に正しい過去の記述、とりわけヒトラーに関連する記述に対す

る批判を永久に禁じている。国家社会主義に関することは、20世紀初頭にさかのぼる偏った敵意のフィルターを通さない限り、誰も学ぶことを許されない。

俳優エーリッヒ・フォン・シュトロハイムは、20年以上もの間、何十本ものアメリカ長編映画で、モノクルと決闘の傷跡をつけたステレオタイプなドイツ軍国主義者を劇的に演じた。彼はハリウッドの宣伝担当者たちから、正真正銘のオーウェル流に「憎めない男」と謳われた。フォン・シュトロハイムは、まずプロイセン人、次にナチスの将校を、堅苦しく傲慢で、残酷で、欺瞞に満ちた人物として描き、洗脳された何世代ものアメリカ人が、彼の意地悪な人物描写を本物の描写として受け入れた。フォン・シュトロハイム」が実はユダヤ人として1967年の『ユダヤ百科事典』に掲載されており、彼の「フォン」はニセの芸名の一部であったことに、彼の映画を見た者はほとんど誰も気づかなかった。ユダヤ人のオットー・プレミンジャーは、1950年代から60年代にかけてフォン・シュトロハイムの伝統を引き継ぎ、ナチスのサディスティックな怪物は死をもってのみ価値があるというステレオタイプを永続させた。ヒトラー自身は、もう一人のユダヤ人俳優ルーサー・アドラーによって演じられることが多かった。

第一次世界大戦後、ユダヤ人は敗戦に打ちひしがれたドイツに対して事実上無限の権力を握った。1933年、ヒトラーは彼らを追い出した。他の国々がヒトラーに倣うことを恐れ、追放されたユダヤ人たちはヒトラーを破滅に値する最悪の悪として描いた。その結果、多くの人々は第二次世界大戦全般と国家社会主義について、徹底的に歪んだ見方をしている。そしてそれは、この捏造されたイメージの加害者たちが、その普遍的な受容に-政治的にも経済的にも-多大な投資をしているからである。確かに、彼らの人生そのものと、彼らが作り出した世界は、この互いに合意した虚構にその存在を絶対的に依存している。

言い換えれば、もし彼らが受け入れている戦争についての見解が真実でないとすれば、1945年以降に発展してきた私たちの文明の枠組み全体が虚偽の上に成り立っていることになる。それを暴くことは、現代社会の土台を崩すことになる。国家社会主義に関する嘘の上に栄えるすべての政治的・情動的権威に対する大衆的で暴力的な拒絶は、必然的な結果である。第二次世界大戦の偉大な犠牲者としてユダヤ人に同情するように育てられてきた地球上の異邦人の世代が、ついに自分たちがかえって第二次世界大

戦の扇動者であり、最悪の残虐行為を行ったことを認識したとき、何が起こるだろうか。覚醒した異邦人たちは、第二次世界大戦から自分たちの時代へと悪がエスカレートしていく過程をたどることができた後、どのような反応を示すのだろうか。ユダヤ人によるあらゆる権力の支配に対する一般的な覚醒は、コーカソイドスの支配へと変貌する可能性があり、その影響は、15世紀前に退廃したローマ帝国を消滅させたゲルマン人の侵略に勝るとも劣らない破壊的なものとなるだろう。

この簡潔な歴史は、第二次世界大戦におけるヨーロッパ戦線を概観する以上のものではないが、この種のものとしては初めてのものであると自負している。国家社会主義者の見解に対する容赦ない反感と弾圧が何十年も続いた後に、このようなものが現れたこと自体が、その生来の強力な有効性を物語っている。ヨーゼフ・ゲッペルス博士は、息子のハラルドに宛てた最後の手紙の中で、燃え盛るベルリンの廃墟からこう書いている。その時こそ、われわれが常にそうありたいと努力し、そう信じてきたように、清廉潔白で汚れのないわれわれが、すべてのものの上にそびえ立つ瞬間であらう」（1945年4月28日）。

ここでの目的は、いまだに揺るぎない事実として一般に受け入れられている、より露骨な捏造の少なくともいくつかに立ち向かうことである。第二次世界大戦の正史は、ニュルンベルクで真の英雄を絞首刑に処した人々によって書かれてきた。『戦争中のヒトラー』は、この紛争に関する彼らの見解を紹介している。そして、一般大衆が歴史の聖典として鵜呑みにしているヒトラーに関する最悪の誤報に反論しようと試みている。


NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION
Nummer 104 Eingeleitet 1975 26. April 2017 07:06

Der Kampf geht weiter !

Seitdem Hitler nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder da, so jetzt in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!
Menschen von Völkern, Nationen, Vorfahren, Vorfahren haben nicht umsonst, das Leben der ganzen Welt um unsern hoch geliebten Führer Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten und sonstige weltweite Völker und Rassenbewegungen sollen Schüler an Schüler an Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.
Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Gefahr des biologischen Völkertods ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Ein verwerfliches Gerede ist also dabei, das Volkstum – gegen alle weißen Völker (!) – zu hegen, sein Volk und seine Erbschaft, Überlieferung und Lebensweise.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Straßenkampf, ob mit Propagandamittel, bewaffnet oder auf einem Schiffsfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitl Hitler!
Gottfried Lueck


TROTZ VERBOT NICHT TOT!


N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものですね。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningtheascend.com/truth.html) に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の増量です。1つのことについて情報を集めても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、理も




the NEW ORDER
Number 176 (2022) Founded 1975 April 26, 2022 07:06

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defamation have not sufficed to destroy the word of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware counterforces and racial kinmen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "legal" or "illegal", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind every National Socialist must do his duty!

Hitl Hitler!
Gottfried Lueck


TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

SS Defender against Bolshevism
by Reichsführer SS Heinrich Himmler



Translated from the SS Original

The Poisonous Mushroom
Johann Steinhilber der Ritters Pöbeln Book



Translated from the Third Reich Original
Der Giftpilz

Hitler in Italy
Rudolf Heßmann



English / German Deutsch / English

SS Viewpoint - Vol. 9
Wife and Family



The Sins of High Finance
Theodor Fritsch



Luftwaffe War Art
Die Luftwaffe im Bild



English - German / Deutsch - English

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org

Contact us to find out how YOU can help!